

福島県立会津支援学校

福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 102 番地
電話 0242-32-2242 / FAX 0242-32-6079

発行日 平成30年12月20日(第58号)

『地域と共にある会津支援学校』

教頭 佐々木 孝幸

「猛暑」「酷暑」と連日のように報道された今夏ですが、本校の所在地である会津若松市も正に「猛暑」となりました。気象庁発表の統計データでは、今夏、会津若松市では猛暑日(最高気温が35℃以上)が何と27日、真夏日(最高気温が30℃以上)が64日も観測されたと報告されていました。この暑さから子どもたちを守り、教育活動を行うために学校でも様々な対策を講じてきました。父母と教師の会から急遽、扇風機50台を購入していただき各教室へ配置したり、屋外や体育館での教育活動を制限したりしました。暑さにより大きく体調を崩したり、熱中症になったりする児童生徒もおらず、ほぼ予定どおりの教育活動を行うことができました。保護者の皆様の御理解、御協力へ改めて感謝申し上げます。

さて、2学期は多くの学習活動や行事があり、慌ただしくも充実した期間となりました。子どもたちの成長の様子や日々の学習活動の成果などを実感できる機会も多かったです。10月に実施された恒例の「パワー祭り」では、小学部は各学年のステージ発表、中学部は作業製品の販売、ゲームコーナーやカフェコーナー、高等部は作業製品の販売、喫茶コーナーや清掃体験コーナーなどを行い、これまでの学習活動の成果を発表(披露)することができました。当日は、ここ数年で最も多い700名以上の皆様にご来校いただきました。保護者や関係諸機関の皆様他に、前日まで本校で実習を行っていた会津大学の学生さんや学校視察に来校した市の児童委員の方、地域住民やボランティアの方々など、多方面の皆様にご来校いただきました。会津支援学校が多くの皆様へ理解されていること、地域と共にある学校であることなどを改めて実感した1日となりました。

今後も、保護者や関係諸機関の皆様との「信頼関係」を基盤として、子どもたち一人一人が笑顔で学べ、多く皆さんから愛される『地域と共にある会津支援学校』を教職員一丸となって創っていきたいと思います。

「地域支援センターあいつの取り組み」

今年度は、福島県の「未来へつなぐ子育て・教育充実事業」の小事業として「切れ目のない支援体制整備事業」が実施され、本校に教育支援アドバイザーが配置されました。教育支援アドバイザーは、地域支援センターあいつに所属し、主に地域の幼保こども園、小、中、高等学校の教育相談や校内の相談支援にあたっています。特別支援教育のさらなる充実に向けての動きがありました。

地域支援センターあいつの取り組みから長年実施しています「あそびの教室」と「ホッとサークル」について紹介いたします。

あそびの教室



あそびの教室は未就学の幼児を対象に、様々なあそびを通して人や物とかかわる力を身に付けたり、心身の発達を促したりするための活動を取り入れて行っています。あそびの教室に参加していたお子さんが本校へ入学することもあります。あそびながら本校の環境に慣れることができ、入学後の学校生活に向けてスムーズなつながりができています。今年度は8回実施で、毎回10名程度の参加があり、にぎやかに活動をしています。

ホッとサークルは保護者同士の子育てに関する情報交換や悩み相談の場として、本校保護者を対象に実施しています。1回目は学部ごとに2回目は本校卒業生の保護者から話を聞く機会を設けています。特に2回目は、在学中の話、進路決定の話、卒業後の現在の話を実体験に基づいて聞くことができます。利用している福祉制度や行政との関わりについて具体的に聞くこともでき、将来のイメージをするきっかけにもなります。参加者から好評なので、大勢の保護者の方に参加していただければと思います。

ホッとサークル



小学部

神指小学校との交流及び共同学習

今年度も4年生以上の学年で、学年同士の交流及び共同学習が行われました。4、5年生は2回、6年生は1回です。各学年で交流を深め、子ども達の笑顔があふれるよい学習となりました。お互いに歩み寄って交流する姿が見られるなど、継続して行うことの大切さを改めて感じました。ゲームなどで交流することはもちろん、学年によっては学習の成果を発表し合う時間もあり、お互いに成長を確認できるような場面もありました。今後も末永く続けていきたいです。



居住地校交流について

9校12名が実施しました。「地域で共に学ぶ」ことは、子ども達の大切な経験となりました。

中学部

【修学旅行（3年）】

2コースに分かれて実施しました。那須方面では「オルゴール作り」や「石けん作り」などに取組み、自然の中でゆったりとした時間を過ごしました。東京・千葉方面では、「お台場」「東京ディズニーランド」「葛西臨海水族園」等での様々な体験をし、抱えきれないほど沢山の思い出ができました。



【会津学鳳中学校との交流】今年も会津学鳳中学校の2年生と2回の交流を行いました。お互いの学校での直接交流に加え、ビデオレターや礼状、作品交流などの間接交流も充実し、まとめの発表では生徒達から「楽しかった、また来年も交流したい。」との感想が聞かれました。



【第Ⅱ期校内実習（全学年）】今年度は外部からの委託作業に取り組み、どの事業所からも感謝され、高い評価をいただきました。生徒達は2週間やり通した達成感と、実習が終わった安堵感から、最終日にはとてもいい表情で帰宅しました。



高等部

高等部の作業学習では、働く上で必要な態度や技能を身に付けることを目的に日々学習を行っています。7月には、特別支援学校作業技能大会に参加しました。この大会は作業学習等で身に付けた力を専門家から客観的な評価を受けることでさらに技能や意欲の向上を図ることを目的に行われています。今年度は「ビルクリーニング」「喫茶サービス」「PCデータ入力」の各部門に13名の生徒が参加し、日頃の学習の成果を発揮してすることができました。生徒にとっては改めて自分の力を知ったり、課題に気づいたりできるとても貴重な大会となっています。各作業製品の品評も併せて行われ、布製品の「ランチョンバック」、木工製品で「ザ☆イス」が最優秀賞を受賞するなど作業製品作りでも高い評価を受けました。また「農耕班」「木工班」は、地域の方々や会津工業高等学校生との交流及び共同学習を行ったり、「クリーン班」は、年間を通し会津若松駅構内の清掃活動を実施したりするなど広く学習の機会を設定しています。



パワー祭り実行委員会

10月20日、「笑顔かがやけ きぼう祭り 2018」のテーマのもと、聴覚支援学校会津校・会津支援学校合同文化祭「パワー祭り」が行われました。児童生徒実行委員会を中心に、夏休み前からビッグアートの準備、メッセージボールの作成、集会活動をスムーズに行うための練習等、一丸となって行ってまいりました。前日の「パワー祭り頑張ろう会」では、開会宣言後、全校生徒と教職員が力を合わせたビッグアート、「笑顔の樹」が披露されました。会場全体が一つになり、パワー祭りへの期待を一層盛り上げるものとなりました。当日は700名を超える方々に来校いただき、日頃の学習の成果を見ていただく、大変良い機会となりました。たくさんの方々に支えていただいたおかげで、子供達の笑顔の花が咲き誇る、素晴らしい文化祭となりました。本当にありがとうございました。

皆様今後ともご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

